

市は、今年8月に改訂を行った「安中市新庁舎建設基本構想」の内容をもとに、市民会議、市民説明会、パブリックコメントなどの意見を踏まえ、新庁舎建設における方向性や機能、規模などの整備方針を整理し、「安中市新庁舎建設基本計画」を策定したので、その概要をお知らせします。

# 新庁舎建設基本計画を 策定しました

☎資産活用課庁舎建設室(☎内線1056)

## 大きな方向性

### 既存庁舎を活かした機能的で 「シンプル・コンパクト」なSDGs型庁舎



▲基本計画の詳細はこちら

#### 方向性①

将来の財政負担の軽減が図れる  
シンプルでコンパクトな庁舎

#### 方向性②

使いやすい・わかりやすい・動かしやすい庁舎

#### 方向性③

人と環境にやさしいSDGs型庁舎

#### 方向性④

既存庁舎を活かした新しい  
まちづくりの核となる庁舎

## 1-新庁舎建設における方向性

市民の皆さんの声などを尊重し、市における精査を踏まえた結果、可能な限り建設費を抑えられるシンプルでコンパクトな建設規模や構造を採用します。あわせて、将来の財政負担を減らすことを最優先としつつ、環境に配慮し、既存庁舎も活かした新しいまちづくりの核となる庁舎の建設を目指します。

## 2-建設場所と建設規模

### 【新庁舎の建設場所】

新庁舎の建設場所は、旧安中高校跡地にしました。この場所は、庁舎へのアクセス動線や緊急車両の乗り入れなど、利便性・安全性への向上に貢献できると考えています。

体育館および格技場は、引き続き日常時の活用、災害時の避難所として活用します。また、新庁舎との連携も図り、公共施設の利便性を確保します。

### 【新庁舎の建設規模】

基本計画では、将来の財政負担が軽減できるシンプルでコンパクトな庁舎を目指すため、基本構想改訂時からさらなる執務面積の効率化・電子化・ペーパーレス化を図り、新庁舎の延べ床面積7,200㎡を基準に計画を進めます。

(現在地、谷津庁舎、西毛広域幹線道路との位置関係)

